



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 TOWA株式会社

上場取引所 東

コード番号 6315 URL <https://www.towajapan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 博和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長 (氏名) 柴原 信隆

TEL 075 - 692 - 0251

四半期報告書提出予定日 2021年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	20,715	10.2	2,327		2,427		1,771	
2020年3月期第3四半期	18,801	11.9	194	67.9	158	73.9	79	85.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,806百万円 (896.1%) 2020年3月期第3四半期 281百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	70.84	
2020年3月期第3四半期	3.17	

(注) 2021年3月期第3四半期の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の対前年同四半期増減率は、1,000%以上となるため「-」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	46,808	29,603	62.6
2020年3月期	43,124	27,017	62.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 29,321百万円 2020年3月期 26,925百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		16.00	16.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	14.8	3,300	306.3	3,400	425.5	2,450	564.3	97.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2021年2月5日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	25,021,832 株	2020年3月期	25,021,832 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	12,806 株	2020年3月期	12,620 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	25,009,144 株	2020年3月期3Q	25,009,263 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 2020年11月9日に公表いたしました業績予想は、本資料において修正しております。業績予想に関する詳細は、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
3. 四半期決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国では政府による経済対策や外需の回復により、生産や輸出が堅調に推移しプラス成長が続きました。一方、欧米などでは新型コロナウイルス感染者の急増により再びロックダウン（都市封鎖）が行われるなど、厳しい状況が続きました。日本経済につきましては、自動車及びその関連部品などの輸出が堅調に推移し、景気に持ち直しの動きが見られるものの、感染症拡大による経済停滞が続いており、依然として厳しい状況となりました。

半導体業界におきましては、次世代通信規格「5G」関連製品や、テレワークやオンライン授業の普及にともなうノートPC、サーバー向け製品などの需要が引き続き旺盛だったことに加え、電気自動車（EV）化を背景とした車載向け半導体の需要増や、中国における半導体内製化の一段の加速などにより、好調な市場環境が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、半導体メーカー各社の設備投資意欲が益々高まる中、半導体モールドング装置のリーディングカンパニーとして各社のニーズに確実に応えた結果、当第3四半期の受注高が140億63百万円と過去最高となるなど、業績は堅調に推移いたしました。

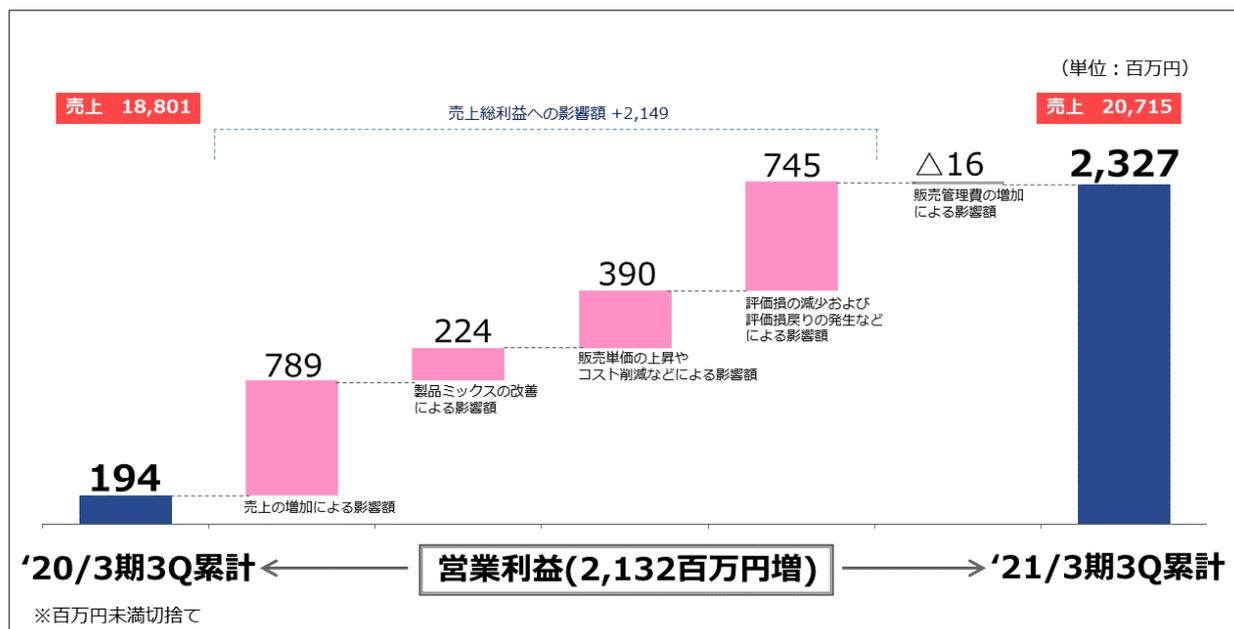
なお、新型コロナウイルス感染症による経営成績への影響につきましては、生産、出荷体制及び装置据付作業などに大きな遅延はなく、現時点において当社事業への影響は軽微であります。しかしながら、感染拡大による経済活動の制限が各国で続いていることから、今後の状況を注視しつつ、引き続きグループ全体で感染防止策を徹底し事業活動を行ってまいります。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は次のとおりであります。

売上高	207億15百万円（前年同期比19億13百万円、10.2%増）
営業利益	23億27百万円（前年同期比21億32百万円増、12.0倍）
経常利益	24億27百万円（前年同期比22億69百万円増、15.4倍）
親会社株主に帰属する四半期純利益	17億71百万円（前年同期比16億92百万円増、22.4倍）

当第3四半期連結累計期間の営業利益の主な増減要因（対前年同期）は次のとおりであります。

売上高の増加による影響額	7億89百万円増
製品ミックスの改善による影響額	2億24百万円増
販売単価の上昇やコスト削減などによる影響額	3億90百万円増
評価損の減少及び評価損戻りの発生などによる影響額	7億45百万円増
販売管理費の増加による影響額	16百万円減



セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[半導体製造装置事業]

半導体製造装置事業における経営成績は、政府によるインフラ投資の拡大や半導体内製化を推し進める中国地域と、5G関連やノートPC、ゲーム機、家電向けなどの幅広い製品需要の増加を追い風に積極的な投資が続く台湾地域向けに売上が伸長いたしました。

利益につきましては、5G関連などの付加価値の高い製品向けに売上が伸長し利益率が改善したこと、また、生産方式の見直しによる在庫削減効果が続いたことなどから、収益性が改善いたしました。

以上の結果、売上高182億81百万円（前年同期比19億10百万円、11.7%増）、営業利益21億12百万円（前年同期比20億15百万円増、22.0倍）となりました。

[ファインプラスチック成形品事業]

ファインプラスチック成形品事業における経営成績は、体温計など一部の医療機器向け製品の売上が伸長したことから、売上高13億43百万円（前年同期比1億28百万円、10.6%増）、営業利益2億97百万円（前年同期比1億15百万円、63.9%増）となりました。

[レーザ加工装置事業]

レーザ加工装置事業における経営成績は、上期の受注が低迷したことから売上は低調に推移し、売上高10億90百万円（前年同期比1億24百万円、10.3%減）、営業損失81百万円（前年同期は営業損失82百万円）となりました。一方、中国や米国での自動車需要の回復などを受け、チップ抵抗器向けのレーザトリマなどの受注環境は回復傾向にあります。また、利益につきましては原価改善や経費削減により当第3四半期は黒字となるなど、先行きに明るさが見え始めました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

活況な半導体市場を受け、半導体メーカー各社に生産能力拡大を急ぐ動きが表れており、一部の設備投資は前倒しで実施されております。また、足元の受注環境も非常に好調なことから、売上高は前回発表予想を上回る見込みです。

利益につきましては、売上高の増加に加え、5G関連などの付加価値の高い製品向けに売上が伸長したこと、また、最先端品を中心にTOWA独自技術のコンプレッション装置・金型の売上が堅調に推移していることから、利益率が改善し各段階利益は前回発表予想を上回る見込みです。

以上のことから当社は、通期の業績予想を修正することいたしました。

なお、当期末の配当予想につきましては、2020年5月28日に公表いたしました内容（1株につき16円）から修正はございません。

詳細につきましては、本日（2021年2月5日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,015,966	11,129,344
受取手形及び売掛金	7,053,977	7,636,095
電子記録債権	53,369	30,662
商品及び製品	1,780,075	1,944,227
仕掛品	4,291,644	4,523,948
原材料及び貯蔵品	582,708	707,372
その他	777,925	1,028,939
貸倒引当金	△1,579	△406
流動資産合計	24,554,088	27,000,184
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,112,850	16,370,475
減価償却累計額	△10,488,132	△10,799,261
建物及び構築物 (純額)	5,624,718	5,571,214
機械装置及び運搬具	10,915,728	11,061,897
減価償却累計額	△8,466,471	△8,854,848
機械装置及び運搬具 (純額)	2,449,257	2,207,049
土地	4,341,168	4,358,426
リース資産	860,172	901,566
減価償却累計額	△65,990	△153,738
リース資産 (純額)	794,181	747,828
建設仮勘定	72,042	1,255,646
その他	3,556,561	3,703,528
減価償却累計額	△3,056,973	△3,209,753
その他 (純額)	499,587	493,774
有形固定資産合計	13,780,955	14,633,939
無形固定資産	686,836	605,239
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	70,264	99,821
その他	4,032,788	4,469,022
投資その他の資産	4,103,052	4,568,843
固定資産合計	18,570,844	19,808,022
資産合計	43,124,932	46,808,206

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,648,428	2,903,338
電子記録債務	1,070,160	1,056,849
短期借入金	3,800,000	2,200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,136,875	1,230,625
未払法人税等	290,592	424,655
製品保証引当金	157,812	166,474
賞与引当金	531,215	373,723
役員賞与引当金	30,531	4,163
その他	1,937,784	2,863,939
流動負債合計	10,603,400	11,223,768
固定負債		
長期借入金	4,450,000	4,945,000
退職給付に係る負債	726,737	766,720
その他	326,971	268,823
固定負債合計	5,503,709	5,980,543
負債合計	16,107,110	17,204,312
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,932,627	8,932,627
資本剰余金	462,236	462,236
利益剰余金	16,827,341	18,198,965
自己株式	△11,391	△11,665
株主資本合計	26,210,813	27,582,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,356,618	1,989,475
為替換算調整勘定	△582,209	△196,734
退職給付に係る調整累計額	△59,478	△53,741
その他の包括利益累計額合計	714,930	1,738,999
非支配株主持分	92,079	282,730
純資産合計	27,017,822	29,603,894
負債純資産合計	43,124,932	46,808,206

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	18,801,702	20,715,506
売上原価	14,268,370	14,032,573
売上総利益	4,533,331	6,682,932
販売費及び一般管理費	4,338,744	4,355,542
営業利益	194,587	2,327,390
営業外収益		
受取利息	36,978	20,177
受取配当金	39,685	28,293
補助金収入	10,327	245,119
奨励金収入	—	32,297
雑収入	57,476	61,536
営業外収益合計	144,467	387,424
営業外費用		
支払利息	39,295	42,532
為替差損	132,120	226,020
雑損失	9,601	19,137
営業外費用合計	181,017	287,690
経常利益	158,037	2,427,124
特別利益		
固定資産売却益	1,997	12,114
その他	—	853
特別利益合計	1,997	12,967
特別損失		
固定資産除却損	1,203	2,209
投資有価証券売却損	—	2,408
その他	—	985
特別損失合計	1,203	5,603
税金等調整前四半期純利益	158,831	2,434,488
法人税等	93,303	660,725
四半期純利益	65,528	1,773,762
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,684	1,990
親会社株主に帰属する四半期純利益	79,212	1,771,772

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	65,528	1,773,762
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	525,570	632,856
為替換算調整勘定	△304,775	394,269
退職給付に係る調整額	△4,575	5,737
その他の包括利益合計	216,220	1,032,863
四半期包括利益	281,748	2,806,626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	300,594	2,795,841
非支配株主に係る四半期包括利益	△18,845	10,784

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。